

八事山 文庫



2019・秋

秋季彼岸会／千燈供養会／稚児募集

令和元年(2019)7月 年4回発行[寺報]

発行所 高野山真言宗 別格本山 八事山興正寺

お寺と自然と香りと



高野山真言宗

別格本山 八事山興正寺

<http://www.koushoji.or.jp>

TEL 052-832-2801 FAX 052-832-8383



八事山正興寺 (名古屋名所)

お寺と自然と香りと

今回、編集者からいただいたテーマは〈香り〉。何とも捉えようのないような……しかし、全く

関係がないわけでもない、筆者を困らせる命題である。関連する言葉としては「薫り」「匂い」「臭い」などで、いずれも嗅覚にかかわる事柄ということになる。しかし五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）における嗅覚を指すと決めつけるわけにもいかない。〈文化の香り〉とか〈事件の臭い〉といった場合は実際の嗅覚とは少々異なる内容を含んでいることもあるのだから。すると「香り、嗅覚」とはいったい何だろうと考えてみるのだが、

結論づけることはかなり難しい。

さて、少し私自身の経験をたどりながら香り・匂いについて触れてみることにしたい。どこか旅先であるとか、散歩道の路傍などで「ふつ」とかすかな匂いを感じることがある。そこには懐かしさが含まれていることもあれば、子供の頃まで一気に連れ戻されたような不思議な感覚を覚えることもある。匂いを通じて何かを思い出させ、一気に遠い遠い昔に導かれるような幻覚に陥ることもある。幻覚ではあるが穏やかさとか、温もりに包まれたような心地よい感覚なのだ。そのような

時、人間の嗅覚とは、匂いとは、いったい何なのだろうかと思ってしまう。

考えてみれば、人の五感の中でいちばんに論理的、科学的に説明することが難しいのが嗅覚なのではないだろうか。焼き芋の匂いから懐かしい子供の頃がふと蘇ってくるように、匂い、香りとはそういう捉えどころのないもののように思われる。捉えどころはないが、人間の身体性の一番に深いところに根差しているプリミティブな感覚なのかもしれない。

匂いという原初的な感覚を通じて手繰り寄せられる記憶の糸口、それはもともとと深い深層の中では神秘世界への繋がりであり、個としての私が遠い先祖からのご縁の続きを今に受け継いでいることの不思議を享けとめられる場でもあるのだろう。

仏教では、特に薫香を大切にする。「にほひ」という人間の原初的な感覚性が、事象を超越した魂の共鳴という神秘世界との繋がりの糸口に導いてくれるということを仏祖は見抜いていたからに他ならない。燈明を点じ、香を薫じて両手を合わせるとき、そこには既に先祖と繋がった仏の世界が顕在するであろう。

お寺の自然の中に芳しい香りを感じ心豊かなひと時を過ごしたいと思う。そのようなひと時こそが人の至福であり、それを仏智からの素敵なプレゼントと享けとめてみるのもいいではないか。

にしぶ ほうしょう

住職 西部法照

岐阜にある法福寺の住職を継いだ後、1998年に渡米。シアトルにある高野山仏教会主任開教師に就任。レドモンド市郊外にシアトル神護寺を開山し、住職を10年に亘り務める。帰国後引退し、2018年9月より興正寺の住職として就任。

行事のご報告

〔五月―六月〕

四月二十五日～五月八日

●端午の節句の室礼

あまり目にする
ことのない石押
し金太郎をはじめ、
鎧兜や勇まし
い鍾馗さんなど、
逞しさと優しさ
のあるお節句飾
りとなりました。



五月五日

●大般若経転読祈禱会

西山本堂の入口
でお待ちいただ
く程の賑わいの
元、御仏饗袋を
供え、皆様に熱
心にご参拝いた
だきました。
令和時代の始ま
りを感じる日と
なりました。



五月十日

●想耕茶会「野の花あわせ」

和花講師 秋草ゆか氏に
よる野の花いけばなを
愛でながらの初夏の緑
あふれる茶席。
道端に咲く花の健気な
美しさに出会いました。



五月十二日

●花まつり

多くの方に参拝と華御堂へ灌仏いただき、
お釈迦さまもたいへんお喜びいただい
ていると思います。
ありがとうございました。



五月十三日

●同行永代経

興正寺に長年ご縁があり、縁日や行祭事な
どに、多大なご尽力頂いた方々のご遺徳を
偲び、供養のお勤めをいたしました。現在
お手伝いをいただいている方々にもご焼香
をいただきました。

五月二十日（～八月三日）

●夏安居「開白」

五月二十日

●三河の歴史とお茶文化を知る旅

今回は茶摘みと
お抹茶工場見
学、一向一揆で
徳川家康公と
戦った本證寺
や、西尾の茶業
はじまりの
紅樹院にお参り
いたしました。



六月五日

●縁日体験「近隣小学校」

昔ながらの縁日が残る地域もめずらしく
なりました。露店に寄り、店主と会話を交
わし、お寺の縁日の雰囲気を感じ、子ど
も達には記憶に残る一日となったしてくれ
たでしょうか。



六月五日・十三日

●不動堂大祭「不動不屈不退転」

祈禱受者には自身を律する強い心と負け
ない気持ちを養う為の訓戒として、僧侶
より漢字一文字の「自戒念字」が授与され
ました。



六月十一日・十二日

●職業体験「御幸山中学校」

表にはみえない細かなところへの気遣い
でお寺の生活は動いていること。歴史を大
切にするとはどういう事かを感じられる
職業体験となるよう計画、体験指導しま
した。寺社という古風を感じる世界にも目
を向ける機会になれば。



六月十一日～十四日

●夏の宝物展

四季折々の自然の中で命きらめく花々や
鳥、虫たちが描かれた花鳥画を展示紹介し
ました。樹田英伸僧侶による絵解きも行わ
れました。



六月十五日

● 興正寺月釜

松尾流 大島宗秀
先生による懸釜
にて月釜を開催
いたしました。
入梅の時節にも
拘わらず当日は、
たくさんの方に
お越しいただき
ました。



六月十九日

● 高野山本山巡回布教 法話会

講師 高野山真言宗管長 御名代
鈴木英彰師(栃木支所 宝性寺住職)

本当の自分に気づくこと

「五蘊は皆空なり」とは、自分は小っぽけな存在じゃないんだということ。「般若心経の一節のこの言葉は、私たち一人ひとりが五蘊(五つのあつまり)、つまり「からだ」と「こころ」でできているということ。五尺のからだに仏さまの智慧(般若波羅蜜)を通して宇宙大に広がる(皆空)、無限の可能性に気づくよう、教えて下さいます」と。例えば、車を運転する時、車は私自身と一体化して、こころが認識し運転が可能となるように。王さまが一国を統べるのもその意を含み、旅客機や豪華客船は勿論、宇宙大に及ぶのです。



● 八事夢講座「第一回」

初回は予想を超える多くの方が来場され、安田文吉氏による裏話を交えた講演と徳川宗春公の筆による掛軸をご覧いただきました。
今後の予定は十三ページ参照



六月二十三日

● 若竹茶会「中京大学文化会茶道部創立六十五周年 第四十二回」

今回は協賛席としてOB・OGの方々に
お点前をいただき、本席は二年生の初めて
のお点前発表となりました。八十名程のご
参加をいただき、OB・OGの方には寄付
にてアルバム
等で学生時代
のことなどを
思い出し、大変
喜んでいただけ
ました。お点
前でも、現役の
私達の成長を
しっかりと感
じていただけ
ました。



報告・写真提供 中京大学文化会茶道部

六月二十四日

● 興正寺ランドデザイン懇談会「第一回」

これからの興正寺が寺院として担う役割を関
わる側の意識にも境内にも反映し、多角的に
捉える取り組みとして、多方面の有識者より
ご意見をお聞かせいただく場を設けました。
興正寺に関わる人々から受け継いだ、大切な
遺産である自然を原点とする神秘的な深ま
りをもつこと。不便のなかに生まれる豊か
さを楽しむこと。そのような視点から、ご意
見を賜る場を、今後も重ねてまいります。

有識区分 コンセプトデザイン

建築

ランドスケープデザイン

● 他の活動報告「五月―六月」

● 當山先師祥月忌

● 五世「六月十日」

● 十六世「六月十一日」

● 十世「六月十五日」

● 出張法話

● 特別養護老人ホーム 高坂苑

● としわ会 昭和区複合型介護施設

● 特別養護老人ホーム 南山の郷

● グレース・ユナジー「落語」

● 茶の湯・阿息観体験・境内散策案内など

● 境内散策「スタコラ会」

● 茶の湯体験「中京大学国際課」

● 奉納・協賛など「興正寺より」

● 滝川学区子ども会(ソフトボール大会)

● 八事学区子ども会(ドッジボール大会)

● ホスピス聖霊後援会(ぶどうの会)

◆ 普門園拝観料について

この度の税制改変・原材料高騰などの
諸般の都合により、普門園拝観料
(竹翠亭含)の見直しを検討させて
頂きます。
歴史的建造物の管理維持、日本文化
の継承に皆さまのご理解ご協力と
何卒ご海容くださいませ。
なお、拝観料の改定が決まりました
ら、十月を目途に興正寺公式サイト
にてお知らせ致します。

● 会合参加

● 借地借家問題を考える会

● 愛知県重要文化財所有者連絡協議会

● 寺族婦人会

● 境内施設利用

● 和と輪と話

● 「主催/榎豊田マネージメント研究所」

● ポーイスカウト名古屋第一団

● 結婚式「プロデュース/シユシユブライダル」

● 中京大学茶道部

● 遠足「近隣小学校」

● 昭和区社会福祉協議会

● 取材・掲載

● 第三十六回 草仏展

● ホームニュースしょうわ

● タウンニュースてんぱく

● キラッ都ナゴヤ

● 名古屋フリモ「昭和版」

● 中京テレビ「キャッチ」六月二十七日放送

苦しみを抜いて楽を感じることに、

自然のご縁に寄り添うという生き方。

興正寺
ひと語り

僧侶 杉浦 宣秀
せんしゅう

高野山「阿字観体験」指導者。昭和52年生まれ。98年に入山。當山では毎月ゼロのつく日にストレスゼロを目指し阿息観を指導。瞑想を通じて幸せの在り方を布教中。

「人が苦しくない悩まない」苦しみを抜いて楽を与えること、それが仏教の役割のひとつです。

快適で便利な世の中になり、物が溢れ、人は幸せを謳歌している様に感じられます。しかし何故か迷い苦しみ、幸せを感じられない方々が多くなっているのは、どうしてなのでしょう。

幸せとは、物事が自分の望む通りになることだと思っていたり、嫌なことがあると、それを無くそうとか、避けようとかすることが、原因のひとつだと仏教では教えるのです。その一つひとつを受け入れ、大きくしないことが大事なことでと伝えていきます。時と共に、必要なものはそのままの場所に、不必要なものは流れていく。全てが諸行無常なのです。

私は、阿息観（あそくかん瞑想）を行っており、その中で「幸せが何なのか」をお伝えしています。お会いする方の中には、幸せを取り違え、自分自身で生み出した苦しみによって、苦しんでおられる方もお見受けします。そんな時、このようにお尋ねすることがあります。「急須の中にある茶葉は、綺麗

だと感じるのに、それが生ゴミの場所に行った瞬間には汚く感じてしまいます。同じ茶葉なのに何故なのでしょうかね」と。

物が変わっていないのに、場所が変わっただけで、その捉え方は異なってしまうのです。同じ様に、自分の都合で解釈し、苦しみを増やしていることがあるのではないのでしょうか。体を整え、呼吸を深めていくこと

によつて心の落ちつきを取りもどし、確かな自分と向き合うことができてくる。阿息観とは、そのような観法だと考えています。次に、阿息観の実際について少しふれてみましょう。

人が呼吸をする時

の特徴として「吸って、吐いて」の順序になることが多いようです。呼吸時の体は、吸う時に緊張し、吐く時にリラックスするようになっていきます。阿息観（あそくかん瞑想）では、呼吸法を通じて、心と体を整えていきます。瞑想では通常の呼吸とは逆にゆっくり吐いてから吸うことを基本と致します。始めにリラックスを体感



するということです。それを繰り返していくと、心がリラックスする時間が長くなるので、自然と心が落ち着いてきます。心が落ち着くと、心にゆとりができるのです。ゆとりができると、正しい智慧が生まれます。正しい智慧が生まれると、正しい行動に繋がるのです。ひたすらゆっくり、「吐いて、吸って」と呼吸を続けることを行っています。

時として、「物事はこうでなくてはいいない」とか「自分は変わらない存在で、自分は自分だ」などと決めてしまっていることはありませんか。自分が理解できることだけを信じて心を狭くしていることはありませんか。

物事は、自然のご縁によつて全てなりたっています。目の前にある物事をそのまま受け入れ、いただいたご縁に感謝し、それと共に過ごすこと。阿息観を体験いただくことで、少しでも多くの方が楽を感じ、幸せな人生を送ることができることを願っています。

幸せを感じることができる、
心と体の整え方。



興正寺で
出会える、
日本に息づく
おもしろみ。



魅力の カタチ KATACHI

きんしゅうせんせいもんかよりあいがき
金秋先生門下寄合書

集う楽しみ

みなさんは「寄合書」よりあいがきという言葉
を聞いたことがあるでしょう
か。書や絵画などは一人の人物
が作り上げるのが一般的です
が、数人が集まり合作で作
り上げたものをそう呼びます。個性
の異なる人の手が集うのですか
ら、きつとお互いに興味深々に違
いありません。

「お、そこからいくのかい」

「じゃあ、こんなのはどうだい」

「ここにこうきたら、粋だろう」

即興で、楽しみながら作られて
いく様子が浮かびます。いずれ
劣らぬ力量の者たちが、その時
だから生み出すことができたも
の。寄合書にはそんな楽しみが
あります。

かすかに香る

この画は木村金秋の門下生た
ちによる寄合書です。画号が添
えられているので、誰がどれを描
いたのかが分かります。

まず目が行くのは、どれで
しいたけ 椎茸、まいたけ 舞茸、しめじにな
しょう。



め茸、良く見ると里芋も転がっ
ています。伸びやかに描かれてい
るのは薄に菊、すすき 女郎花。最後に
ぼっかり月が浮かんでいます。ど
うやら季節は秋。秋に月とくれ
ばお月見です。月見の席に集い

酒を楽しみ、興がのった門下生
たちが、「ひとつ皆で描こうじゃ
ないか」と筆をとったのかもしれ
ません。

そうになると、この椎茸たちは
本人なのではないでしょうか。あ
る者は酔っぱらってひっくりかえ
り、ある者は横になって月を眺
める。思い思いに宴席を楽しんで

いる様子を秋の草花や茸に写し
て描いたと考えると、一つひとつ
が誰なのか探りたくなります。

さてさて、月は秀邦で舞茸は
どうしやう 道周か。おや、どこからかお酒の
香りがしてきたような・・・

真言宗には二つのお経があります。

ひとつは、供養

亡くなった人の為

ひとつは、祈祷

生きている人の為

江戸時代の興正寺創建当時より、多くのお勤めが厳修され、今でも、さまざまな法会が残されています。

その中でも「火」を中心に神仏に祈りを捧げ祈り供養をする法会があります。「なごやの火まつり」の異名を持つ「千燈供養会（註1）」です。

この法会は字のごとく、千個の燈明で参道を照らし、亡くなったすべての生き物の成仏を祈り供養する為に勤められます。

火を燈す行い、それは仏教だけではなく世界共通の行いです。

火を燈すことにより、魂が天に昇り安住できるとされています。

境内に灯された燈明、その道を通り抜けると興正寺の総本尊 大日如来が祀られており、その御宝前において柴燈大護摩祈祷が勤められます。

大きな火を上げ、その煙を浴びることによって神仏に喜んでいただきます。

この柴燈大護摩祈祷の柴燈とは、自然の野山に生える樹木枝葉に火を燈して拝む儀式で、修験道の祖が日本全国の霊山とよばれる山々で修験法されてから千三百年の歴史があります。山岳抖擻の実践行を通じて神通力により修験行法を修するもので、修験道の中で大きな儀礼の一つです。



役の行者

この、修験道の祖役の行者（役の小角、別名「神変大菩薩」）のお姿は、手に

錫杖を持ち鬚を長くのばし、長頭巾を被つて高下駄を履き岩座に腰掛ける老相の馴染み深い姿。聖徳太子や弘法大師とならび、全国各地で大切に祀られてきました。

ここ、興正寺でも山門入口の山の中に「役の小角」として祀られています。

柴燈大護摩祈祷で焚かれる火は、智慧と慈悲を与えてくれる、ありがたい燈です。

我々は、火を上げる事で神仏に喜んでいただき、その間に、衆生の願いを聞いてもらう為、添護摩木に願意を書き、柴燈護摩の火に添え一心に祈ります。

供養の燈、祈祷の燈、それは、この世の天地が無事である事を祈る大事な伝燈の燈です。

どうか、消さないように祈りつけたいものです。

合掌

註1 本年は十月十二日夕刻より

詳細は十三ページ参照



今と変わらぬ当時の様子

供養の燈 祈祷の燈

地域の歴史と八事山

暮らしに
息づいた
知恵。

Vol.3

衣・食・住の源泉へ

四季と暮らし

「春はあけぼの、夏は夜、秋は夕暮れ、冬はつとめて（早朝）」

平安時代、清少納言は随筆『枕草子』のなかでこうしたためました。グローバルに世界が広がった現代から今一度この文章を眺めれば、ある言葉が省略されていることに気がつくでしょう。すなわち、「日本の」春はあけぼの、「日本の」夏は夜……。日本は本来に、四季の移ろいの素晴らしい国です。季節ごとに美しく変化する色彩。折々の花に渡りゆく鳥たち。光、薫り、木の葉のざわめき、雨のにおい。

春霞む山々に昇り現れる朝日、蛍舞う夏の夜の闇の深さ、錦綾なす山々に沈みゆく黄金の太陽、息まで白く凍る雪景色の朝の凜とした空気……。

お経のなかでは極楽には「四時^{しじな}無し」すなわち「四季がない」とあります。この言葉のあとに「寒からず、熱からず、適温である」と続きますので、インド発祥の仏教にとっては、激しい寒暖の差から逃れられる世界が仏の国として理想とされたのでしょうか、私たち日本人にはなんとも味気のない世界みたいですね。

四季とともに暮らす国に生を享けたからには、暑い時は暑さを引き受け、寒い時は寒さを身に沁みて生きるべきなのです。それらに耐えることで、春のうららかさや秋の豊穡な実りというご褒美を、身に余るほどに享受する資格が得られるのですから。

人とのご縁

私たちは出会いや機会そのものというより、結果としてそれらをもたらしてくれた不可思議なはたらきかけ、もしくは力を含めて「ご縁」と呼んでいる。

異国にはこのような不可思議なはたらきかけというものを表現する言葉は見当たらず、神の力としてその不可思議な現実を

表現している。

ここに表面や結果だけではなく、背景にある目には見えないものを観るという、日本の独特文化がある。

私たちはこれからもご縁という見えないものに胸躍らせ期待し続けていくのだろう。



竹・翠・日・和

照り葉の葉

気が付けば、日がくれるのも早くなり、秋の気配を観じる日々となりました。秋と言えば、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋、そして忘れてはならないのは食欲の秋であります。実りの秋と言いつつ、文化や生活の物心すべてが成熟をきわめる時季であります。紅葉もまた自然の造り出す成熟の実りではないでしょうか。

草木の葉が美しく色づくことを「照り葉」と呼びます。照り葉は、一枚一枚が刻々と色や姿を変化させます。照り葉が仲良く調和し紅葉となります。紅葉の織り成す自然の美しさは、見る者の心を虜にするのです。

竹翠亭の縁側に座り、何気なく空を見上げると、空からヒラヒラと舞い落ちる一枚の照り葉、手に取りお日さまに翳（かげ）してみる。お日さまの光を浴びて、なんとも言われぬ美しい景色が照り葉に投影される。まさに錦の輝きであります。どこか親近感さえ覚えてしまいます。同じ形や色をしたものはひとつとして無い、唯一無二の存在。もしかすると、いま手にしている照り葉は自分の心の色なのかも知れません。

気付かぬうちに、人生という本のページを慌ただしくめくる毎日、ふと手にしている照り葉を、そっと今の自分の人生のページに挟んで一休み。なんだか肩の力が抜けて心がホッとします。

「ものごと」だけではなく人の心もまた成熟をするものです。心の成熟とは、自分の心を見つめ、今の心に気付くことなのかもしれません。

照り葉の葉が教えてくれる、自分の心。



お彼岸のご案内

秋季彼岸会

九月二十日―二十六日

◎ 秋季彼岸合同供養会

◎ 人形仏具供養会

◎ 特別永代祠堂法会（招待制）

秋季彼岸合同供養会

秋のお彼岸合同供養を厳修致します。ご来寺、ご焼香賜りますよう御案内申しあげます。尚、當山でのご納骨有無に関わらず、どなたでもご供養させていただきます。当日は受付が混み合いますので、払込みでの事前申込をお勧め致します。

日 時 九月二十日―二十六日

各日／十時・十二時・十三時・十四時・十五時

場 所 光明殿二階

※ご納骨場所に関わらず

申込・締切 郵送受付（払込）

申込書に記入、返信用封筒で返送ください。供養料は郵便局より払込みください。

締切／九月十三日まで

来寺受付（現金）

申込書に記入、供養料と共にお納めください。

締切／当日まで

※塔婆準備の為お待たせ致しますので、なるべく事前申込をご利用ください。

遙拝供養

ご都合により合同供養会に参列できない皆様には、遙拝供養をお勧め致します。事前にお申込みください。ご供養させていただきます。塔婆は當山にてお供えさせていただきます。

塔婆供養料

※一霊・先祖代々共に同供養料

六尺（約一・八m）

三万円

五尺（約一・五m）

二万円

四尺（約一・二m）

一万円

二尺（約0・六m）

五千円

奉納おはぎ

皆様に代わりご先祖様へのおもてなし、『おはぎ』の奉納をいたします。おひとりでも、縁者共同でも、どうぞお供えください。（お名前をあげさせていただきます）



申込「郵送受付（払込）」申込書に記入、返信用封筒で返送ください。

奉納料は郵便局より払込みください。

（当日に窓口でも受付致します）

奉納料 一口 千円

人形仏具供養会

思い出がたくさんつまった
人形・仏具に感謝を込めてお別れを。

日時 九月二十三日

九時～十三時

※十三時より供養会を勤めますので、
十三時までに受付を終了ください。

場所 光明殿一階

申込 当日受付

供養料 一口 三千円より

特別永代祠堂法会（招待制）

西山本堂奥に位置する『霊牌殿』に特別永代経位牌
をお祀りされた皆様の彼岸法会。

日時 九月二十二日

場所 西山本堂

申込 別途招待状を参照ください。

特別永代祠堂（特別永代経位牌）とは

納骨堂や墓地を有するご本人やご遺族からの申し
出により、當山がこれを認めた方のみに親授され
る古来より続く永代に渡るご供養の形態です。

興正寺施主慰霊法会

「九月二十三日 九時三十分（於 西山本堂）」



◆一口の目安

三辺の合計が100センチ以内の段
ボール、もしくは、45リットル相当の袋
に入る程度。（大きさが100センチ
を超える等の場合は、一口五千円以上
となります。）

◆供養品例

雛人形・五月人形・ぬいぐるみ・お守り・
御札等。尚、ガラスケース入りの人形等
は安全の為、ケースを外してお持ちくだ
さい。素材によりお預かりできない場合
はご了承ください。仏具は事前にお電話
でご相談ください。

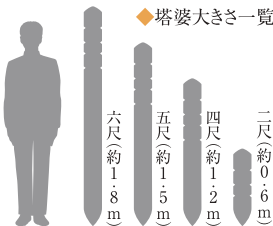
塔婆とは？

「卒塔婆」の略語で、サンスクリット語のス
トウバがルーツ。お釈迦さまが入滅したあ
と、その舍利（遺骨）を納めた塔（ストウパ）
を建てて供養したのが始まり。卒塔婆は、故
人や先祖を供養する追善供養（生きている人
が亡くなった人に対して行う供養のこと）の
目的で建てられます。追善の文字があらわす
ように、生きている人が亡くなった人の代わ
りに、この世で行う行為で、その功德はまた
自分に戻ってくるという考え方です。



興正寺の塔婆は、1本1本
手書きでおつくりしております。

◆塔婆大きさ一覧



お彼岸とは

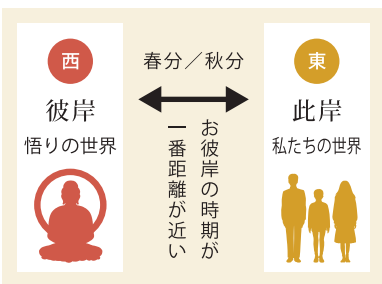
「お彼岸にお墓参りをするのはなぜ？」

古来、農耕民族であった日本人にとって、収穫を
左右する太陽は大切な信仰対象でした。春の種
まきや秋の収穫期と相まって、万物自然への畏
敬の念と日々の恵みへの感謝、そして、祖先を大
切にする人間本来の気持ちが育まれたのも当然
のことでしょう。

仏教伝来以前、古の日本人は自然信仰や祖先崇
拝の祈りなど、太陽に少しでも近い、身近な山の
頂や高台に登ってご先祖様に感謝と供物を捧
げ、その年の豊作や無病息災を願いました。その
風習が、今日のお墓参りへと繋がっています。こ
れが後に、本格的な仏教思想の拡がり結びつ
くことで、阿弥陀の極楽浄土は西の「彼岸」に、現
世俗世は東の「此岸」にあるとされました。春分・
秋分にこそ、あの世とこの世が最も近くなると
信じられていくのです。

彼岸の墓参りは、こうしてご先祖様にお会いす
るための日本独自の文化風習となりました。

※左図の通り、広く一般に知られるお彼岸の由来は、
主に浄土信仰が説く考え方ですが、真言密教では



お墓参りの大切さを
重視しています。お彼
岸中、當山に御縁のある
皆様は「六種供養」即
ち「六波羅蜜」の考え
方に基づく生活を実
践し、ご先祖様のご供
養に、ぜひ感謝の真心
でお墓参りに御来寺
くださいませ。

◆9月20日～26日は「お位牌出しのみ」の対応となります。 期間中はお骨出しは出来ません。ご了承ください。

お位牌出し予約

電話

052-832-2801

来寺

圓照堂・納経所まで

【締切】希望日前日15時まで

※個別供養については、ご希望にそいかなる場合がございますので、ご了承ください。事前にお問合せください。

圓照堂
ご納骨の方へ
要予約

ろうそく奉納

千燈供養会へご参拝のみなさまへ
ろうそくをお渡しいたします。
自らの手と心で参道に奉納いただき
共にご供養いたしましょう。

千燈供養会

せんとうくようえ

千基の法灯で祈りを捧ぐ

10月12日

柴燈大護摩祈禱

さいとうおおごまきとう

真言秘奥の柴燈大護摩祈禱は、
私たちの祈りを天まで届けます。
境内は先祖供養や、
願いのための
燈籠で彩られます。



↑ QRコードから千燈供養会
当日の動画をご覧ください。

千基の法灯で
境内を満たす
清浄な日。
興正寺最大行事
「千燈供養会」は、
明治24年(1891年)
10月に発生した
濃尾地震犠牲者の
鎮魂供養のために
始まったと
云われています。



昔の千燈供養会の様子

限定授与品

特別護摩木

一本ずつ皆様の願いを書き、
大日如来さまの御宝前で行われる
柴燈大護摩壇の炎に投じます。

1本一願 500円

申込締切: 当日まで
〈事前奉納受付中〉



供養燈籠

新元号制定記念

一基 500円

申込締切
10月1日
〈郵送(払込)受付可〉

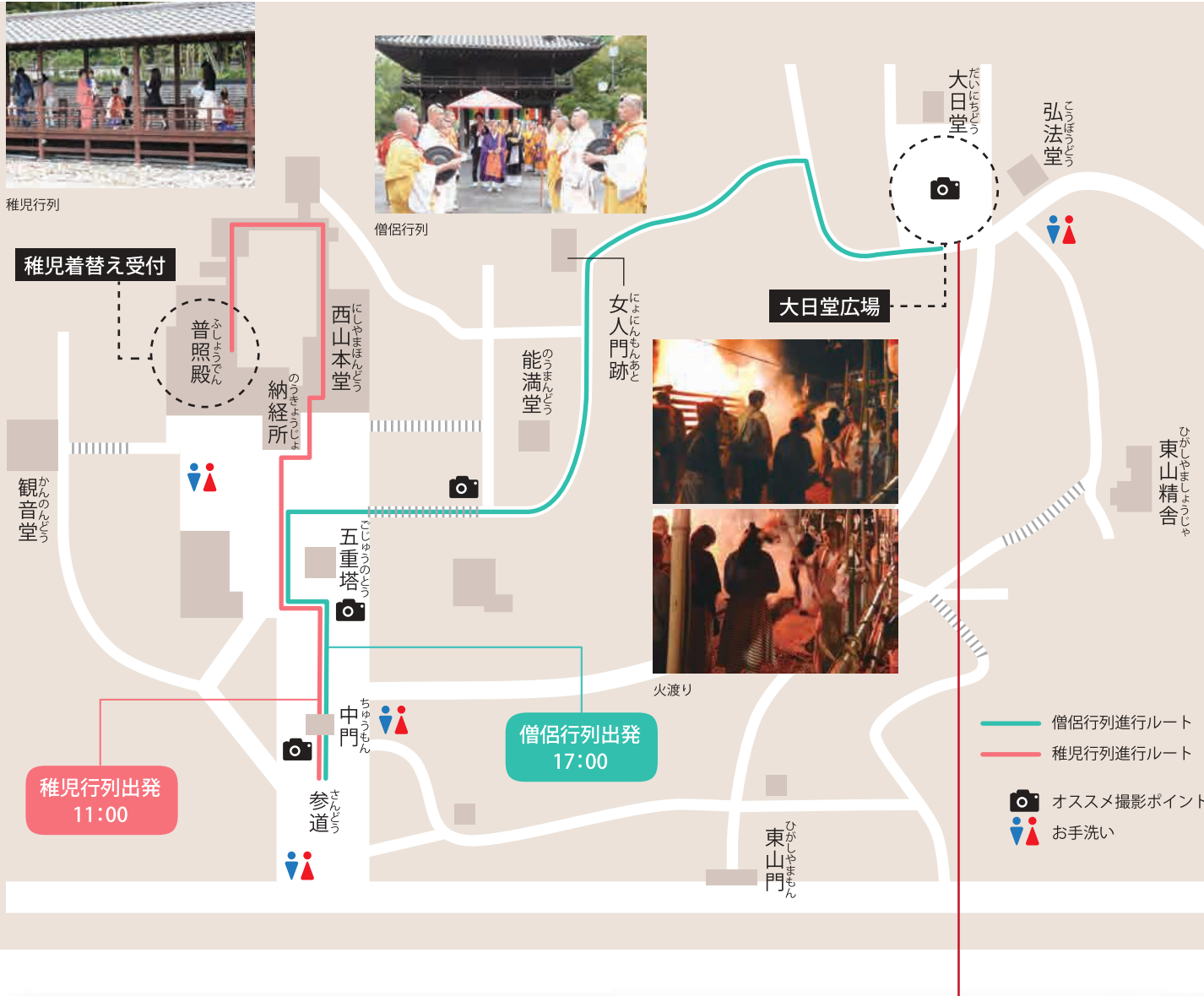


特別朱印

一体 300円

限定数
当日のみ





真言秘奥 柴燈大護摩祈祷の見どころ

※舞い上がる火の粉にはご注意ください。

其の一 山伏問答

護摩壇を護る山伏と問答で智慧比べ。「自分はこういうものです。柴燈大護摩供に参加させてよ」と始まりますが…そこは真言秘奥、簡単には通してもらえません。



其の二 宝弓之儀 (ほうきゅうのぎ)

護摩壇に火を灯す前には悪いものが入らないよう、斧や剣で清め結果が張られます。山伏が放った矢を受け取った方は持ち帰り、家の厄除破魔矢として祀ります。



其の三 真棒(しんぼう)を燃やす

総本尊大日如來の智慧の火を松明に灯し、護摩壇に灯します。祈願の「願文」を奉読し、祈祷します。護摩壇から立ち上る煙にはご利益があります。



特別護摩木・供養燈籠 申込方法

当日の参拝・見学随意。どうぞ、ご参加ください。

① 郵送受付(払込)

払込用紙にて申込ください。
※申込書送付不要

② 来寺受付(現金)

受付／納経所
ご自身で燈籠・特別護摩木へご記入いただきます。

時間	スケジュール	場所
17:00	僧侶行列 出発	平成大仏前
17:30	さいとうおおごま 柴燈大護摩祈祷開始	大日堂広場
18:00頃	柴燈大護摩壇点火	
	特別大護摩祈祷・火渡り ※特別護摩木を自らの手で投じていただきます。	
19:00頃	下山	

※スケジュールや内容は都合により変更になる可能性があります。



八事山 興正寺「千燈供養会」

お稚児さん 募集

10月12日

対象／0歳～中学生の男女

お稚児さんの起源は古く、稚児行列への参加はとても貴重で稀なご縁と言われます。そのような事情から「稚児を3度も務められることはとても尊いことであり、特に幸せになれる」と云われ、身体健全など、お子様の健やかな成長を祈願する習しとなりました。興正寺最大行事の大切な露払いの役割も担っています。

役稚児 (やくちご)

可愛い巫女衣装で参列を。

限定
5名

対象／8歳～中学生の女児

祈祷料／10,000円

授与品／お守り・特別護摩木1本



一般稚児

お気軽にご参加いただけます。

限定
150名

対象／0歳～中学生の男女

祈祷料／5,000円

授与品／お守り・特別護摩木1本



※衣装はすべてご用意いたします。
当日は襟ぐりの開いたTシャツ(U首のシャツ)を着用ください。運動靴など歩きやすい靴でお越しください。
※屋内へのベビーカー持ち込みはできません。
※当日の写真は、広報物へ使用することがあります。ご了承ください。
※[団体参加受付]保育園・幼稚園や他寺院などの団体参加も可能です。お問い合わせください。

時間	スケジュール	場所
9:00	受付開始 (時間指定あり)	普照殿ロビー
	稚児衣装に着替え (記念撮影などでお過ごしください)	大書院
10:45	行列整列	参道
11:00	行列出発	参道
	加持祈祷	西山本堂
12:00	稚児行列終了・着替え	大書院

夕刻からは大日堂広場での「柴燈大護摩祈祷」にもぜひご参加ください。

※スケジュールや内容は都合により変更になる可能性があります。

特別護摩木

願文を書いて燃やし、身体健全を祈祷します。

【当日授与可】1本一願 500円

追加奉納承ります
ご家族それぞれにて
祈願・供養いただけます。



申込方法

祈祷料のお納めを以て、お申し込みとさせていただきます。

① WEB受付(払込)

興正寺公式WEBサイト内「稚児募集」のお知らせよりお申込みください。別途、払込用紙にて祈祷料をお納めください。祈祷料の払込確認を以て、受付完了といたします。

公式WEBサイト <http://www.koushoji.or.jp>

② 来寺受付(現金)

稚児の ○生年月日 ○名前

○申込者(当日参列の保護者)の氏名・住所・連絡先 を
ご確認の上、受付(納経所)にて記入・納入を以て
受付完了といたします。

受付締切

9月21日まで

九月五日・十月五日・十一月五日

和と輪と話「わとわとわ」

お寺で楽しむ高齢者アクティビティ。各回異なる内容で、たのしい時間を共有しましょう。



場所 普照殿「華宮」・大書院
時間 十時～十一時三十分
十三時～十四時三十分

参加料 無料

申込・締切 不要(先着五十名)

主催・問合せ先

株式会社豊田マネージメント研究所
(電話 052184212050)

九月七日

子ども寺子屋くらぶ「秋」

体験を通じて日本の伝統や文化を学び、子どもたちの豊かな感性が育まれることを願って開催しています。



年四回、四季に合わせた内容で、秋は「十五夜お月さん：お月見飾りをつくる」とし、お供えのお飾りを作ってお月様に願います。大切にしたい季節の行事を伝えたいと思います。ご兄弟、お友だちも誘ってどうぞ。

講師 竹翠亭

場所 竹翠亭

時間 十時三十分～十二時三十分

申込・締切 要(公式サイト・電話(十時～十六時)・来寺)

支具料 要(公式サイト・電話(十時～十六時)・来寺)

子ども 千五百円(材料・呈茶付)

付添 五百円(呈茶付)

九月十四日・十一月二十三日

源をたどる布薩・一日修養会④・⑤

本年は仏教徒の定期的な修行「布薩」を現代日本にのみがえさせます。午前に供養と読経と座学。精進料理の昼食、午後に瞑想を行うことで、暮らしのなかに仏教を取り入れていきます。(希望回のみ受講可)



④回目内容

律 僧 明忍・慈雲：江戸戒律の復興運動

和の文化 華道：花を活かす修行の道

⑤回目内容

律 僧 天瑞・諦忍：八事こそが尾張の育ての親

和の文化 茶道：日本文化の総合芸術

場所 光明殿

時間 十時～十四時

支具料 二千円(三宝講員 千五百円)

申込・締切 要(普照殿受付／各回三日前まで)

※「三宝講」については申込時にお問合せください。

九月十二日

想耕茶会「白露の席」

二十四節気より名付きました。この季節の「今」を楽しむ茶会です。



場所 竹翠亭

時間 十時・十一時・十三時・十四時

茶 券 千五百円

申込・締切 要(電話(十時～十六時)・来寺)
／七月十二日より・定員あり

九月十七日

樹木医とあるく

興正寺の森

興正寺の森のために尽力頂いている樹木医さんに、実際に森を歩きながら、様々な経験を元にしたお話をうかがいます。



申込・締切 要(主催者へ／八月十三日まで)

主催 昭和生涯学習センター

(電話 052185211144)

十月十日～十一日

団体参拝「弘法講十八本山巡礼」

紅葉の京都・香川

ご参加いただいた方は1年間弘法講員として、弘法堂にて「祈禱」を執り行います。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



おります。(毎月21日 10時30分より弘法堂にて)行程等概要は納経所へお問い合わせください。

場所 勸修寺・善通寺・金毘羅宮

日程 一泊二日(七時三十分頃出発予定)

申込 来寺(納経所)九月二十一日まで・定員あり

支具料 二万七千円(申込時納入)

十月十九日

興正寺月釜

懸 釜 裏千家 神谷宗銀

場所 竹翠亭・耕雲亭

時間 十時～十五時

茶 券 薄茶席二席千五百円

問合せ 電話(竹翠亭あて／当日券あり)

十月十九日

いのちの修行一日体験

いのちに向き合い、抱きしめ、いのちに還る。例年好評の日帰り修行体験。日常のすべてを忘れてお寺という空間で無心に過ごし、自分と向き合ってみませんか。いのちを見つめる法話や講義、作務、瞑想をおこない、参加者同士の交流も図っていきます。



一日のはじまりは、自身と向き合い心を見つめる

講師 榊田英伸(興正寺僧侶)

場所 林直子(終活ライフプランナー)

時間 大書院・境内

持ち物 筆記用具・帽子・タオル

支具料 飲み物(蓋付きに限る)

申込・締切 三千五百円(申込時納入／精進弁当昼食)

要(普照殿受付／十月十六日まで)

定員先着予約順)

11月

七五三 身体健全祈禱会

節目の歳を迎えたお子さまの健やかなる成長を願う七五三。色づいた紅葉のもと、ご家族揃ってハレの日をお祝いください。

〔合同祈禱会日程〕

11/2・3・9・10・16・17

23・24・30



写真提供 SNOW*IN

対象 平成25年生まれ(7歳)
平成27年生まれ(5歳)
平成29年生まれ(3歳)
※満年齢でもお受けいたします。

祈 禱 料 5,000円(お守り・千歳飴含)
申込・締切 要(公式サイト七五三ページより)



授与品例

※個別での祈禱をご希望の場合は、お問合せください。

十一月八日

想耕茶会〔柴舟の席〕

まだ寒さも訪れない穏やかな日和に、野点の席をお楽しみください。

場 所 大書院
時 間 十時・十一時・十三時・十四時
茶 券 千五百円
申込・締切 要(電話・来寺(十時～十六時)
／九月八日より・定員あり)



十一月十五日

奥之院大祭

阿弥陀如来さまと善の綱でつながることを、仏さまの力を注ぎ込み、魔を払い福を招き入れます。



場 所 東山本堂
時 間 十三時～十四時(法話含／申込不要)
祈 禱 料 千円〔祈願ろうそく一本百円〕

十二月三十日・十二月一日

日本福祉文化学会「東海大会」

十二月一日には興正寺にて阿息観体験などがございます。どうぞ、お気軽にご参加ください。

主催・問合せ／日本福祉文化学会事務局
(電話 061496313410)

十二月一日～五日

三千仏名会〔懺悔会〕

この三千仏名会を今に至るまで行っている寺院は少なく、新しい年を迎えるにあたり、僧侶として研鑽に努める者が一年間に犯した罪障を取り除く大切な法会です。



場 所 西山本堂(一般参加不可)

十二月八日

大日堂すすはらい

興正寺総本尊「胎藏界大日如来」に報恩謝徳の気持ちを含めて煤払いを勤めます。

場 所 大日堂
時 間 十二時三十分～十三時三十分頃(法話含)



十二月八日

毎日慈善茶会

主催・問合せ／株式会社毎日文化センター
(電話 052158111366)

12月14日

子ども寺子屋くらぶ 〔冬〕

冬は「雪んこ茶会」として子どもたちだけのお茶会をします。作法を学びながらお茶席の楽しみを知る、年に一度の寺子屋です。お茶会の後は、新しい一年を豊かに幸せに暮らせるように「お正月飾り」を作ります。



講 師 竹翠亭
場 所 竹翠亭
時 間 10時30分～12時30分
支 具 料 子ども 1,500円(材料・呈茶付)
付 添 500円(呈茶付)
申込・締切 要(公式サイト・電話(10時～16時)
・来寺 10月14日より・定員あり)

十二月二十一日

興正寺月釜

懸釜 尾洲久田流下村宗隆
場所 竹翠亭・耕雲亭
時間 十時～十五時
茶券 薄茶席二席 千五百円
問合せ 電話(竹翠亭あて/当日券あり)

十二月二十一日

終い弘法

毎年十二月二十一日は「終い弘法」といわれ、お大師さまを憶念する重要な縁日です。一年間の報恩に感謝を捧げましょう。



場所 弘法堂
時間 十時三十分～十二時頃(申込不要/定員あり)

十二月二十八日

年忘れ大もちつき大会

主催 名古屋イーストライオンズクラブ
(電話 052176313221)



※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。

興正寺の年越し

十二月三十一日

ベートーベン「第九」合唱

場所 五重塔前
(雨天時変更)
時間 二十二時三十分
(観覧自由)



除夜の鐘

場所 観音堂
時間 受付/二十三時より
申込 当日受付
(納経所付近)
志納 百円



一月一日～四日

新年初護摩祈禱会

場所 西山本堂
時間 一月一日/零時
一月一日～四日/十時・十一時
十三時・十四時・十五時
申込 当日受付
祈禱料 五千元・一万円・二万円・三万円
五万円



八事夢講座

興正寺にも縁が深く、「芸どころ名古屋」の礎を築いたとされる尾張徳川家七代藩主宗春公に迫ります。(希望回のみ受講可)
後援/名古屋市長和区役所



やすだ ぶんきち
安田文吉

(東海学園大学客員教授)
名古屋熱田区生まれ。幼少より、常磐津節や西川流日本舞踊などに親しみ、浄瑠璃や歌舞伎など伝統芸能を研究。大学で教鞭をとるほか、著書を多数刊行。

12月17日～20日

冬の宝物展

インド古来の神が仏教に同化して仏法の守護神となった「天部」について展示紹介します。梶田僧侶による絵解きもお楽しみに。

時間 10時～16時(最終日は15時閉会)
拝観料 普門園拝観で見学可



講座のご案内

「カレンダー日程と併せてご覧ください」

仏讃歌

御詠歌入門講座

金剛流御詠歌の入門講座。お作法や符の読み方からはじめます。入門編に触れた後には、初級・上級講座も。

講師 鈴木智弘 僧侶
時間 十四時
場所 光明殿
申込 不要
支具料 無料

体験する

阿息観（密教禅）

密教の修行法として説かれた瞑想法のレクチャーをストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日（10・20・30日）に開講。



講師 杉浦宣秀 僧侶
時間 十四時
場所 境内揭示納経所付近
申込 不要
支具料 無料
を当日に確認ください。

写経写仏はじめて講座

毎月二十一日の興正寺マルシェの日に行われる体験講座です。どなたでもお気軽に。十三時より法話あり。（再受講の方は、時間内参加随意）

講師 梶田英伸 僧侶
時間 十一時～十四時
場所 光明殿
申込 不要
支具料 千円
参加ください

学ぶ

仏教入門講座

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話もあり、仏教は初めてという方も安心です。

講師 森田泰澄 僧侶
時間 十四時
場所 普照殿〔華宮〕
申込 不要
支具料 無料

仏典読み解き講座

仏典（仏教典籍）とは仏教における権威ある書物のこと。平安時代に書かれた地獄・極楽を詳しく説いた『往生要集』を読み解きます。

講師 梶田英伸 僧侶
時間 十時
場所 普照殿〔華宮〕
申込 不要
支具料 無料

健康づくり

TERA・YOGA

ヨガの基本を優しくレッスンします。茶会や結婚式にも利用される大広間で庭園を眺めながら、月に一度の自身をねぎらう時間として。



講師 西口のぞみ
時間 レギュラークラス／十時～十一時三十分
マタニティクラス／十三時～十四時十分
場所 大書院（受付 普照殿受付）
申込 要（公式サイトより）
支具料 二千円

和の心にふれる

興正寺の普門園内にある茶室 竹翠亭で行われる少人数制の講座です。日本文化にふれ、心を深めるひとときを。

申込 要（公式サイトより）

遊翠の心 写経

講師 西山海良 僧侶
時間 十時・十四時
場所 竹翠亭
支具料 千五百円（呈茶含）



遊翠の心 阿息観

講師 西山海良 僧侶
時間 十時・十四時
場所 竹翠亭
支具料 千五百円（呈茶含）

遊翠の心 水墨画

講師 山田静舟
時間 十四時
場所 竹翠亭
支具料 二千円（呈茶含）
※申込は要事前問合せ

遊翠の心 きもの装い〔初級・応用〕

講師 竹翠亭
時間 初級／十時
支具料 二千円（呈茶含）
応用／十三時
※四月開始 年間申込

遊翠の心 茶の古典を読む

講師 梶田英伸 僧侶
時間 十時
場所 竹翠亭
支具料 千五百円（呈茶含）
※場所：十一月のみ華宮

遊翠の心 茶の屏〔秋・冬〕

講師 竹翠亭
時間 十時・十四時
場所 竹翠亭
支具料 二千円（呈茶含）

◆葬儀について

家族葬から社葬・大型葬まで、一般的なセレモニーホールとは異なり緑豊かで三百年以上の時を刻む歴史ある地でのお葬儀は、より一層にお越しいただいた方の記憶に残ることでしょう。お問合せは、お電話にて。

◆永代供養納骨堂のご相談について

家族や親戚、誰もが集まりやすい八事の杜がこれからの人生にやすらぎの道を示してくれることでしょう。資料請求は公式サイトお問合せ、もしくは、お電話にて。

祥月忌合同供養会（日程はカレンダー参照）

場所 西山本堂（圓照堂 天瑞いずみの会は圓照堂）
時間 西山本堂十三時・圓照堂十三時三十分
供養料 一霊 五千円より（当日受付）

◆婚礼について

日本の歴史文化を紡いできた貴重な場所で仏前結婚式を執り行っております。前撮りも承ります。

◎境内施設利用について

ご希望の方は、お問合せください。倫理道德・近隣配慮等、寺院・文化的施設である事をご理解いただける場合ご利用いただけます。

◎団体対応について

小学校課外授業などの教育機関・企業研修や各種団体等での茶の湯体験や歴史授業依頼なども、お気軽にご相談ください。

◎境内撮影利用について

営利目的や大人数での撮影は、許可が必要です。行祭事等との確認もごいします。事前にお問合せをお願い致します。尚、許可できない場合がございます。ご了承ください。

※堂内や法会中は、許可者以外の撮影をご遠慮いただいております。

◎報道関係の皆様へ

取材、ロケーション使用依頼・掲載や画像使用のご相談を承っております。お問合せください。

月	火	水	木	金	土	日
						1 仏滅 祥月忌合同供養会 [霊龜堂・圓照堂・永代経・永代納骨・佐羅陀淨苑・天瑞いずみの会]
2 大安 御詠歌勉強会 普門園休園日[竹翠亭含]	3 赤口	4 先勝 遊翠の心 きもの装い [初級・応用]	5 友引 縁日 大随求明王 [露店あり] 場所/西山本堂 ▽干支成満巡り 集合/納経所前 時間/10時 支具料/無料(別途朱印代) 大般若経転読祈祷会 和と輪と話	6 先負	7 仏滅 子ども寺子屋 くらぶ[秋]	白露 8 大安 縁日 大日如来 場所/大日堂 祥月忌合同供養会 [圓照堂・天瑞いずみの会]
9 赤口 遊翠の心 茶の古典を読む	10 先勝 阿息観 遊翠の心 写経 戌の日 安産合同祈祷会	11 友引 名古屋市 自動車図書館 普門園休園日[竹翠亭含]	12 先負 想耕茶会 普門園休園日[竹翠亭含]	13 仏滅 縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり] 場所/能満堂	14 大安 源をたどる布薩・ 一日修養会④	15 赤口 縁日 阿弥陀如来 場所/東山本堂 普門園休園日[竹翠亭含]
16 先勝 普門園休園日[竹翠亭含]	17 友引 樹木医とあるく 興正寺の森	18 先負 縁日 観世音菩薩 場所/観音堂 仏典読み解き講座 八事夢講座	19 仏滅 阿息観 秋季彼岸会	20 大安	21 赤口 縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 場所/弘法堂 月並御影供 マルシェ茶席 写経写仏 はじめて講座 TERA-YOGA [レギュラー・マタニティ]	22 先勝 特別永代祠堂法会 戌の日 安産合同祈祷会
秋分 お中日 23 友引 人形仏具供養会 興正寺施主慰霊法会	24 先負 縁日 地藏菩薩 場所/能満堂 遊翠の心 阿息観	25 仏滅 遊翠の心 茶の扉[夏]	26 大安 長老祥月忌 秋季彼岸会	27 赤口 遊翠の心 水墨画	28 先勝 縁日 不動明王 場所/不動護摩堂 普門園休園日[竹翠亭含]	29 先負 普門園休園日[竹翠亭含]
30 仏滅 阿息観 普門園休園日[竹翠亭含]						

※赤字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、16～19ページでご紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。

※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認ください。



月	火	水	木	金	土	日
	1 大安	2 赤口 御詠歌勉強会 遊翠の心 きもの装い 〔初級・応用〕	3 先勝	4 友引 戌の日 安産合同祈禱会 普門園休園日〔竹翠亭含〕	5 先負 縁日 大随求明王 〔露店あり〕 場所／西山本堂 ▽干支成満巡り 集合／納経所前 時間／10時 支具料／無料（別途朱印代） 和と輪と話 普門園休園日〔竹翠亭含〕	6 仏滅 祥月忌合同供養会 〔霊龜堂・圓照堂・永代経・ 永代納骨・仏羅陀浄苑・ 天瑞いずみの会〕 普門園休園日〔竹翠亭含〕
7 大安	寒露 8 赤口 縁日 大日如来 場所／大日堂 遊翠の心 写経	9 先勝 普門園休園日〔竹翠亭含〕	10 友引 阿息観 遊翠の心 茶の古典を読む	11 先負 3世祥月忌	12 仏滅 11世祥月忌 千燈供養会 稚児行列	13 大安 縁日 虚空蔵菩薩 〔露店あり〕 場所／能満堂 普門園休園日〔竹翠亭含〕
14 赤口	15 先勝 縁日 阿弥陀如来 場所／東山本堂	16 友引 開基忌 戌の日 安産合同祈禱会 八事夢講座	17 先負	18 仏滅 縁日 観世音菩薩 場所／観音堂 仏典読み解き講座 普門園休園日〔竹翠亭含〕	19 大安 いのちの修行 一日体験 興正寺月釜 普門園休園日〔竹翠亭含〕	20 赤口 祥月忌合同供養会 〔圓照堂・天瑞いずみの会〕 阿息観
21 先勝 縁日 弘法大師 〔興正寺マルシェ〕 場所／弘法堂 月並御影供 マルシェ茶席 写経写仏 はじめて講座 TERA-YOGA 〔レギュラー・マタニティ〕	22 友引 遊翠の心 阿息観	23 先負 名古屋市 自動車図書館	霜降 24 仏滅 縁日 地藏菩薩 場所／能満堂	25 大安 遊翠の心 水墨画	26 赤口 普門園休園日〔竹翠亭含〕	27 先勝 7世祥月忌 普門園休園日〔竹翠亭含〕
28 仏滅 縁日 不動明王 場所／不動護摩堂 戌の日 安産合同祈禱会	29 大安 普門園休園日〔竹翠亭含〕	30 赤口 阿息観 遊翠の心 茶の扉〔秋〕	31 先勝 仏教入門講座			

※赤字（行事）、緑色文字（講座）の詳細は、16～19ページでご紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。
※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認ください。



月	火	水	木	金	土	日
				1 友引	2 先負	3 仏滅 祥月忌合同供養会 [霊龕堂・圓照堂・永代経・ 永代納骨・佐羅陀浄苑・ 天瑞いずみの会]
					普門園休園日[竹翠亭舎] 七五三 身体健全祈禱会	普門園休園日[竹翠亭舎]
4 大安	5 赤口 縁日 大随求明王 [露店あり] 場所/西山本堂 ▽干支成満巡り 集合/納経所前 時間/10時 支具料/無料(別途朱印代) 和と輪と話	6 先勝 遊翠の心 きもの装い [初級・応用]	7 友引	立冬 8 先負 縁日 大日如来 場所/大日堂 想耕茶会	9 仏滅 戌の日 安産合同祈禱会	10 大安 祥月忌合同供養会 [圓照堂・天瑞いずみの会] 阿息観
			普門園休園日[竹翠亭舎]		普門園休園日[竹翠亭舎] 七五三 身体健全祈禱会	普門園休園日[竹翠亭舎]
11 赤口	12 先勝 遊翠の心 写経	13 友引 縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり] 場所/能満堂	14 先負 遊翠の心 茶の古典を読む 矢代仁・三越 着物展示販売会	15 仏滅 縁日 阿弥陀如来 場所/東山本堂 ▽奥之院大祭	16 大安	17 赤口
		普門園休園日[竹翠亭舎]			普門園休園日[竹翠亭舎] 七五三 身体健全祈禱会	普門園休園日[竹翠亭舎]
18 先勝 縁日 観世音菩薩 場所/観音堂 仏典読み解き講座	19 友引	20 先負 阿息観 八事夢講座	21 仏滅 縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 場所/弘法堂 月並御影供 マルシェ茶席 写経写仏 はじめて講座 TERA-YOGA [レギュラー・マタニティ] 戌の日 安産合同祈禱会	小雪 22 大安 遊翠の心 水墨画	23 赤口 源をたどる布薩・ 一日修養会⑤	24 先勝 縁日 地藏菩薩 場所/能満堂
	普門園休園日[竹翠亭舎]				普門園休園日[竹翠亭舎] 七五三 身体健全祈禱会	普門園休園日[竹翠亭舎]
25 友引	26 先負 遊翠の心 阿息観	27 大安 遊翠の心 茶の扉[秋]	28 赤口 縁日 不動明王 場所/不動護摩堂 仏教入門講座	29 先勝	30 友引 阿息観	
					普門園休園日[竹翠亭舎] 七五三 身体健全祈禱会	

※赤字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、16～19ページでご紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。
 ※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認ください。

行事カレンダー		12月		御縁日[毎月]			
		[師走]		5日 10時……大随求明王[露店あり]		18日 13時……観世音菩薩	
				8日 12時30分…大日如来		21日 10時30分…弘法大師[興正寺マルシェ]	
				13日 10時……虚空蔵菩薩[露店あり]		24日 13時……地藏菩薩	
				15日 13時……阿弥陀如来		28日 14時……不動明王	
月	火	水	木	金	土	日	
						1 先負 日本福祉文化学会 普門園休園日[竹翠亭含] 三千仏名会(懺悔会)	
2 仏滅 三千仏名会(懺悔会)	3 大安 戌の日 安産合同祈禱会 普門園休園日[竹翠亭含]	4 赤口 名古屋市 自動車図書館 遊翠の心 きもの装い [初級・応用]	5 先勝 縁日 大随求明王 [露店あり] 場所/西山本堂 ▽干支成満巡り 集合/納経所前 時間/10時 支具料/無料(別途朱印代)	6 友引 	大雪 7 先負 	8 仏滅 縁日 大日如来 場所/大日堂 ▽大日堂すずはらい 祥月忌合同供養会 [霊龜堂・圓照堂・佐羅陀淨苑・道那奏苑・永代経・永代納骨・天瑞いずみの会] 普門園休園日[竹翠亭含]	
					普門園休園日[竹翠亭含]	普門園休園日[竹翠亭含]	
9 大安 	10 赤口 阿息観 遊翠の心 写経	11 先勝 	12 友引 遊翠の心 茶の古典を読む	13 先負 縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり] 場所/能満堂 遊翠の心 水墨画	14 仏滅 子ども寺子屋 くらぶ[冬]	15 大安 縁日 阿弥陀如来 場所/東山本堂 祥月忌合同供養会 [圓照堂・天瑞いずみの会] 戌の日 安産合同祈禱会 普門園休園日[竹翠亭含]	
		普門園休園日[竹翠亭含]					
16 赤口 	17 先勝 	18 友引 縁日 観世音菩薩 場所/観音堂 遊翠の心 茶の扉[冬] 仏教読み解き講座 八事夢講座	19 先負 	20 仏滅 阿息観	21 大安 縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 場所/弘法堂 ▽終弘法 月並御影供 写経写仏 はじめて講座 興正寺月釜	冬至 22 赤口 	
	冬の宝物展				普門園休園日[竹翠亭含]		
23 先勝 普門園休園日[竹翠亭含]	24 友引 縁日 地藏菩薩 場所/能満堂 遊翠の心 阿息観	25 先負 	26 赤口 仏教入門講座	27 先勝 戌の日 安産合同祈禱会	28 友引 縁日 不動明王 場所/不動護摩堂 年忘れ大もちつき大会	29 先負 	
30 仏滅 阿息観	31 大安 ベートーベン 「第九」合唱 除夜の鐘 普門園休園日[竹翠亭含]	1/1 赤口 新年初護摩祈禱会					

※赤文字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、16～19ページでご紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。
※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認くださいませ。